

呼吸器内科研修コース

研修コース責任者： 河野 修興（分子内科学 教授）

1. コースの概要

「分子内科学（内科学第二）研修コース全体説明」に記載

（参照：<http://home.hiroshima-u.ac.jp/naika2/recruit/index.html>）

2. 構成病院群一覧（広島大学病院を除く）

(1) 病院名、責任者名、URL（順不同）

県立広島病院：土井正男（呼吸器内科・リウマチ科主任部長）

<http://www.hph.pref.hiroshima.jp>

広島市民病院：金原正志（呼吸器科副部長）<http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp>

安佐市民病院：江川博彌（副院長）<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>

呉医療センター：中野喜久雄（内科系診療部長）<http://www.kure-nh.go.jp>

東広島医療センター：重藤えり子（呼吸器科部長）<http://www.hiro-hosp.jp/>

広島赤十字・原爆病院：有田健一（呼吸器科部長）

<http://www.hiroshima-med.jrc.or.jp/>

吉島病院：山岡直樹（副院長）<http://www.kkr.or.jp/yoshijima/>

中国労災病院：風呂中誠（呼吸器科医長）<http://www.chugokuh.rofuku.go.jp>

呉共済病院忠海分院：近藤圭一（院長）<http://www.k3.dion.ne.jp/~tdu-hp/>

JR 広島鉄道病院：沖本真史（呼吸器内科部長）<http://www8.ocn.ne.jp/~jrw-hhp/>

JA 広島総合病院：櫻井穰司（第一内科主任部長）<http://www.hirobyo.jp/>

JA 尾道総合病院：風呂中修（内科部長）<http://www.hirokouren.or.jp/ohindex.htm/>

JA 吉田総合病院：川本雅英（副院長）<http://www.hirokouren.or.jp/yoshida/>

マツダ病院 五明幸彦（副院長）<http://hospital.mazda.co.jp>

市立三次中央病院：粟屋禎一（呼吸器医長）<http://www.miyoshi-central-hospital.jp/>

西城市民病院：郷力和明（院長）http://www.city.shobara.hiroshima.jp/shinshi/kennkoufukushi/sai_josiminhosp/sai_jouTOP.asp

安芸市民病院：柳田実郎（副院長）<http://www.hiroshimashi-ishikai-hosp.or.jp/>

尾道市公立みつぎ総合病院：河野秀和（内科医長）

<http://www.mitsugibyoin.com/index.html>

呉市医師会病院：<http://krinssv.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

三原市医師会病院：奥崎健（副院長）

<http://www.mihara-hiroshima-med.jp/hsptl/index.htm>

因島医師会病院：小野広一（副院長）<http://www.innoshima.com/ishikai/hospital/>

北九州総合病院：友田義崇（内科主任部長）

http://www.kitakyu-hp.or.jp/contents/kitahos_sogo.htm

※入局者全員が内科学会認定医・専門医を受験できるように出張病院を組んでいる。

3. 研修期間

後期研修は4年以内

4. 定員

とくに制限なし。

5. 入局について

「分子内科学（内科学第二）研修コース全体説明」に記載

6. 取得できる専門医，認定医について

日本内科学会：認定内科医・総合内科専門医

日本呼吸器学会、日本アレルギー学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本臨床腫瘍学会、
日本癌治療学会、などの専門医

infection control doctor など

7. 大学院について

講座名：広島大学大学院 展開医科学専攻病態制御医科学講座 分子内科学研究室

資格：原則として初期研修終了後、認定内科医（日本内科学会）修得者

尚、初期研修終了後、直接入学することも可能である

入学時期：卒後4年～8年次が多い

8. 国内・国外への留学について

現在、University of Helsinki (Finland)などに留学中

国内・国外問わず、留学希望者には斡旋

国内・国外で交流のある研究室

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター・ゲノムシーケンス解析分野

東京大学大学院 疾患生命工学センター放射線研究領域

高知大学医学部 血液・呼吸器内科、島根大学医学部 呼吸器内科

国立がんセンターなど

National Jewish Medical and Research Center, Denver, USA

Anderson Cancer Center, Houston, USA など

9. 女性の医師への対応について

「分子内科学（内科学第二）研修コース全体説明」に記載
出産および育児等の事情を配慮し、広島大学病院での呼吸器内科臨床においてフレックス制を導入し、働きやすい環境を提供できるよう適宜調整しています。

10. 後期研修後の進路について

呼吸器専門医、あるいは総合内科専門医として当科関連病院スタッフとして従事していただきたい。また、この時点での大学院への進学も可能である。

11. 大学医局に関する情報（研究室の構成）

(1) 所属医師数（呼吸器）

| | | | |
|----------|-----|--------|----|
| 総数： | 23名 | | |
| 男性： | 16名 | 女性： | 7名 |
| 教授以外の教官： | 7名 | 医科診療医： | 4名 |
| 大学院生： | 11名 | 研究生： | 1名 |

*社会人大学院生も含む

(2) 各研究室の構成

| 研究室名 | 専門分野・研究テーマ | チーフ名 (役職) | 構成 人数 |
|-------------|---|-------------------------------|----------|
| 呼吸器 グループ | <ul style="list-style-type: none">● 間質性肺炎・肺線維症に対する新規治療薬の探索及び新規治療法開発の研究● 肺癌の転移抑制にかかわる薬剤の探索及び分子を標的とした新規治療法開発の研究● 難治性喘息の原因とも言える気道リモデリングの病態解析及びそれに対する治療法開発の研究● 肺癌におけるKL-6の関与の解明及び新規血清マーカーの開発● 閉塞性肺疾患における末梢気道の変化の解析● 慢性閉塞性肺疾患と生活習慣病との関連についての研究 など、臨床に直結できる研究を推進しています。 | 河野修興 教授 服部 登 准教授 | 34 名 |

(3) 教室スタッフ

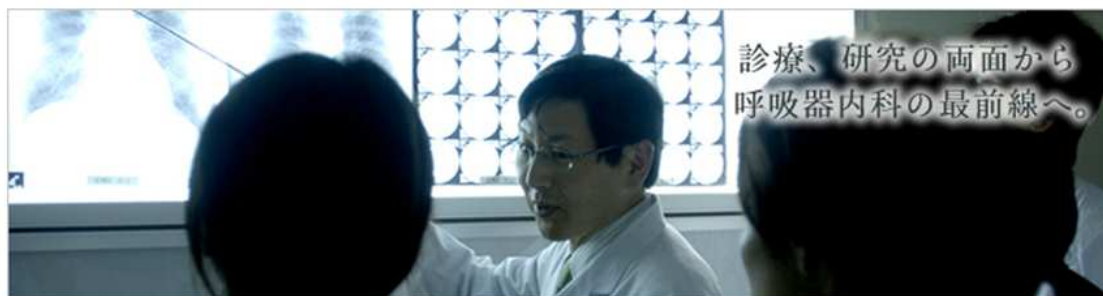
教授 河野修興
准教授 服部登
講師 村井博、春田吉則（医局長代理）
助教 藤高一慶（病棟医長）、石川暢久、大下慎太郎（救急部）、岩本博志、
大成洋二郎、妹尾直（臨床腫瘍科）
医科診療医 宮本真太郎、河瀬成穂、石山さやか、高山裕介

(4) 教室の特色

当科は4代にわたって呼吸器内科を専門とする教授を配した全国有数の呼吸器病学教室です。呼吸器疾患は、肺癌・中皮腫に代表される腫瘍性疾患，肺炎・結核に代表される感染性疾患，気管支喘息・COPDに代表される気道炎症性疾患，特発性間質性肺炎に代表されるびまん性肺疾患，ARDSに代表される救急疾患，睡眠時無呼吸症候群に代表される異常呼吸疾患，などなど多岐にわたっており，学ぶべきことが非常に多いのが特徴ですが，これらを少しでも理解できるようになった時には，医療のいろいろな分野への応用が利く可能性を秘めているともいえるでしょう。しかも，呼吸器疾患患者は増加の一途をたどっていることから，医師としてのニーズもますます高まっており，呼吸器内科医は一般病院からも引っ張りだこの状態になっています。

呼吸器疾患には難治性のものが多く，まだまだ解明されていないことが沢山ありますので，より良い治療法を見つけたい，そして，わからないことを自分の手で解明してみたいという意欲を少しでもお持ちになった方は，是非我々の仲間になって，呼吸器疾患の治療・研究に取り組んでみませんか。さらに，後期研修後には，大学院での研究活動を行うことも推奨していますし，希望者には海外への留学も積極的に斡旋しています。

当教室の活動に少しでも興味を持たれた方は，是非ご連絡，ご相談ください。



(5) 最近の教室入局者数 (呼吸器)

| | 合計 | 広大卒(男) | 広大卒(女) | 他大学卒(男) | 他大学卒(女) |
|--------|-----|--------|--------|---------|---------|
| 平成19年度 | 5名 | 2名 | 1名 | 0名 | 2名 |
| 平成20年度 | 4名 | 2名 | 0名 | 1名 | 1名 |
| 平成21年度 | 9名 | 4名 | 0名 | 3名 | 2名 |
| 平成22年度 | 10名 | 4名 | 3名 | 3名 | 0名 |
| 平成23年度 | 5名 | 2名 | 2名 | 1名 | 0名 |

(6) 大学院への最近の進学状況 (呼吸器)

| 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 3名 | 2名 | 4名 | 8名 | 3名 |

(7) 大学院在学中の収入 (年収) および卒後の進路について

「分子内科学 (内科学第二) 研修コース全体説明」に記載

(8) 教室の今後の展望

「分子内科学（内科学第二）研修コース全体説明」に記載

(9) 教授プロフィール

「分子内科学（内科学第二）研修コース全体説明」に記載

コース全体図

「分子内科学（内科学第二）研修コース全体説明」に記載